

IV 調査票

1 母子世帯

令和4年度ひとり親世帯生活実態調査票 母子世帯用

【御協力をお願い】

この調査は、母子世帯を対象に、生活実態や行政への要望事項等を把握することを目的として、概ね5年に一度、実施している調査です。

調査結果は、ひとり親世帯に対する福祉施策の推進を図るための基礎資料として活用され、統計以外の目的に利用することはありません。

なお、今回、あなた様を調査対象とさせていただきましたのは、住民基本台帳上の世帯構成等から、一定の基準により無作為に抽出した結果であり、他意は全くありません。

住民基本台帳等から一定の基準により無作為に抽出する関係で、調査対象ではない世帯に誤って送付される場合がありますが、その場合は、御容赦ください。

お忙しいことと存じますが、ひとり親世帯の生活実態等をより正確に把握したいと考えておりますので、無理のない範囲で調査への御協力をお願いいたします。

【調査対象となる世帯】

この調査の対象となるのは、母子世帯の方です。具体的には、以下に該当する世帯の方が対象となります。

なお、以下に該当しない場合は、調査対象ではありませんので、右の口内に×印を記入いただき、同封の返信用封筒（切手不要）にて御返送ください。

<母子世帯とは>

以下の1から7までのいずれかに該当する方で、令和4年10月1日現在において、20歳未満の子どもを扶養している世帯

- 1 夫と死別し、現在も婚姻していない方
- 2 夫と離婚し、現在も婚姻していない方
- 3 夫の生死が明らかでない方
- 4 夫から遺棄されている方

※ 遺棄：夫が子どもと同居せず、養育に関して何もしないこと

- 5 夫が精神または身体の障がいにより長期間労働能力を失っている方
- 6 夫が法令により長期間拘禁されている方

※ 拘禁：夫が刑事施設に継続的に拘束されていること

- 7 婚姻によらないで母となり、現在も婚姻をしていない方

【回答方法等】※郵送又は、WEBのいずれかにより御回答ください。

令和4年10月1日現在の状況について、御回答ください。

(郵送回答) 調査票に必要事項を御記入いただき、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、令和4年12月26日までに投函してください。

(WEB回答) 下記URLまたは、右のQRコードを読み取っていただき、令和4年12月26日までに御回答ください。

URL: <https://questant.jp/q/miyazakiken2022bo>



QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です

調査票ID: 27951

※調査票IDは、インターネット回答と郵送回答の重複回答を確認するものです。

調査票IDはアンケート調査票にランダムに付与しており、個人を特定できないようにしています。

【調査に関するお問合せ先】

株式会社九州みらい研究所（調査委託先）

住所：熊本県熊本市東区健軍4-13-2

TEL：096-214-6014（平日9時～17時まで）

【実施主体】

宮崎県福祉保健部こども政策局こども家庭課

問1 現在あなたがお住まいの市町村は、どちらですか。口の中に市町村名を記入してください。

--

問2 あなたの現在（令和4年10月1日現在）の年齢は何歳ですか。該当する番号に○をつけてください。

- 1 19歳以下 2 20～29歳 3 30～39歳 4 40～49歳
5 50～59歳 6 60～69歳 7 70歳以上

問3 あなたのお子さん（令和4年10月1日現在で20歳未満の者に限る。）の生年月を記入し、性別、同居の別、就学・就労状況欄のあてはまるもの1つに○をつけてください。

生年月	性別	同居の別	就学・就労状況
平成()年()月生 令和	1.男 2.女	1.同居 2.別居	01.未就学児 02.小学校1年～3年 03.小学校4年～6年 04.中学生 05.高校生 06.専修・各種・高専・短大・大学生 07.就労 08.その他
平成()年()月生 令和	1.男 2.女	1.同居 2.別居	01.未就学児 02.小学校1年～3年 03.小学校4年～6年 04.中学生 05.高校生 06.専修・各種・高専・短大・大学生 07.就労 08.その他
平成()年()月生 令和	1.男 2.女	1.同居 2.別居	01.未就学児 02.小学校1年～3年 03.小学校4年～6年 04.中学生 05.高校生 06.専修・各種・高専・短大・大学生 07.就労 08.その他
平成()年()月生 令和	1.男 2.女	1.同居 2.別居	01.未就学児 02.小学校1年～3年 03.小学校4年～6年 04.中学生 05.高校生 06.専修・各種・高専・短大・大学生 07.就労 08.その他
平成()年()月生 令和	1.男 2.女	1.同居 2.別居	01.未就学児 02.小学校1年～3年 03.小学校4年～6年 04.中学生 05.高校生 06.専修・各種・高専・短大・大学生 07.就労 08.その他
平成()年()月生 令和	1.男 2.女	1.同居 2.別居	01.未就学児 02.小学校1年～3年 03.小学校4年～6年 04.中学生 05.高校生 06.専修・各種・高専・短大・大学生 07.就労 08.その他

問3-1 あなたの同居人員は何人ですか、該当する区分欄ごとにそれぞれの人数を記入してください。（あなた本人と問3に記入した20歳未満のお子さんは除きます。）

あなたの父母	あなたの兄弟姉妹	あなたの祖父母	あなたの20歳以上の子	その他
人	人	人	人	人

問4 母子世帯になられてから現在までの年数は何年ですか。該当する番号1つに○をつけてください。

- 1 1年未満 2 1年～3年未満 3 3年～5年未満 4 5年～10年未満
5 10年～15年未満 6 15年以上

問5 母子世帯になられたのは、どのような理由からですか。該当する番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|----------------|--------------|---------------|
| 1 病死 | 2 交通事故死 | 3 その他の理由による死別 |
| 4 経済的理由による離婚 | 5 配偶者暴力による離婚 | 6 その他の理由による離婚 |
| 7 行方不明・遺棄 | 8 配偶者が重度障がい | 9 未婚の母 |
| 10 その他の理由による生別 | | |

問5-1 問5で「4」、「5」、「6」あるいは「9」とお答えの方におうかがいします。

お子さんの養育費を受け取ったことがありますか。該当する番号に1つだけ○をつけてください。

- 1 一度も受け取ったことはない。
- 2 以前受け取ったことはあるが、現在は受け取っていない。
- 3 不定期だが受け取っている。
- 4 定期的に受け取っている。

問5-2 問5-1で「1」あるいは「2」とお答えの方におうかがいします。現在養育費を受け取っていない理由は何でしょうか。該当する番号に1つだけ○をつけてください。

- 1 相手から養育費をもらわないことにしたため。
- 2 相手が養育費を支払う能力がないため。
- 3 相手が養育費を支払う意志がないため。
- 4 養育費に関する話し合いをしていないため。
- 5 その他（)

問5-3 問5-1で「3」あるいは「4」とお答えの方におうかがいします。該当する番号に○をつけてください。（「1」あるいは「2」に○をつけた方は、養育費の金額についても記入してください。）

- 1 月額 約（ ）円
- 2 一時金 約（ ）円
- 3 もらっているが、金額は決まっていない

問5-4 問5-1で「3」あるいは「4」とお答えの方におうかがいします。養育費の受け取りに関して、何らかの取り決めをしましたか。該当する番号に1つだけ○をつけてください。

- 1 文書はないが、約束をした。
- 2 私的文書で取り決めをした。
- 3 公正証書、判決、調停調書等の公的文書で取り決めをした。
- 4 取り決めをしなかった。（理由：)

問5-5 問5で「4」、「5」、「6」あるいは「9」とお答えの方におうかがいします。

お子さんとお子さんの父親との面会交流を行ったことがありますか。該当する番号に1つだけ○をつけてください。

- 1 一度も行ったことはない。
- 2 以前行ったことはあるが、現在は行っていない。
- 3 不定期だが行っている。
- 4 定期的に行っている。

問5-6 問5-5で「1」あるいは「2」とお答えの方におうかがいします。現在面会交流を行っていない理由は何でしょうか。該当する番号に1つだけ○をつけてください。

- 1 お子さんを父親に会わせたくないため。
- 2 お子さんの父親がお子さんとの面会を希望していないため。
- 3 お子さんが父親との面会を希望していないため。
- 4 面会交流に関する話し合いをしていないため。
- 5 第三者による面会交流の支援（場所の提供や付き添いなど）を受けることができないため。
- 6 その他（ ）

問5-7 問5-5で「3」あるいは「4」とお答えの方に面会交流の頻度についておうかがいします。該当する番号に○をつけてください。（「1」から「3」のいずれかに○をつけた方は、面会交流の回数についても記入してください。）

- 1 年（ ）回 2 月（ ）回 3 週（ ）回
- 4 その他（ ）
- 5 行っているが、回数等は決まっていない

問5-8 問5-5で「3」あるいは「4」とお答えの方におうかがいします。面会交流に関して、何らかの取り決めをしましたか。該当する番号に1つだけ○をつけてください。

- 1 文書はないが、約束をした。
- 2 私的文書で取り決めをした。
- 3 公正証書、判決、調停調書等の公的文書で取り決めをした。
- 4 取り決めをしなかった。（理由： ）

問6 母子世帯になった当時困ったことは何ですか。該当する番号に2つ以内で○をつけてください。

- 1 経済的に困った 2 子どもの世話や教育 3 家事（炊事・洗濯） 4 住居がない
- 5 仕事がない 6 その他（ ） 7 特になし

問7 現在、困っていること、悩んでいることは何ですか。該当する番号に3つ以内で○をつけてください。

- 1 生活費 2 家事（炊事・洗濯） 3 就職・転職 4 住宅
- 5 子どものこと 6 結婚 7 相談相手がいない 8 借金
- 9 病気や健康 10 老後の心配 11 その他（ ）
- 12 特にない

問8 あなたが困った時の主な相談相手は誰ですか。該当する番号に3つ以内で○をつけてください。

- 1 同居の親族 2 実家や親戚の人 3 友人・知人 4 職場の同僚・上司
- 5 福祉事務所 6 児童相談所 7 市町村役場 8 民生・児童委員
- 9 母子会 10 学校の先生 11 保育園・幼稚園等の保育士・先生
- 12 NPO等の民間の支援団体 13 その他（ ）
- 14 相談相手はいない

問9 現在のお住まいは次のどれにあたりますか。該当する番号1つに○をつけてください。

- 1 持ち家 2 実家や親族の家に同居 3 公営（県・市町村営）住宅
- 4 会社寮・社宅 5 民間の借家・アパート 6 母子生活支援施設（母子寮）
- 7 その他（ ）

問10 あなたの現在のお仕事は次のどれにあてはまりますか。該当する番号1つに○をつけてください。

- 1 自営業（家族従業を含む）
- 2 常用雇用者※1（勤務先の正職員）
- 3 常用雇用者※1（労働者派遣事業所の派遣社員※2）
- 4 パート・アルバイト・臨時・非常勤職員・契約社員
- 5 内職
- 6 その他（ ）
- 7 無職

※1 常用雇用者とは、期間の定めのない労働者として雇用されている者

※2 派遣社員とは、労働者派遣法に基づき、派遣元事業所と雇用契約を結び、派遣先企業に勤務する者

問10-1 あなたが母子世帯になった当時のお仕事について、該当する番号1つに○をつけてください。

- 1 現在の仕事と同じ
- 2 現在と仕事の内容は同じだが、勤務先が異なっていた
- 3 現在と勤務先は同じだが、勤務場所が異なっていた
- 4 現在と勤務先は同じだが、以前はパート・アルバイト・臨時・非常勤・契約社員で、今は正職員になった
- 5 現在と勤務先は同じだが、以前は正職員で、今はパート・アルバイト・臨時・非常勤・契約社員になった
- 6 現在とは違う仕事についていた
- 7 その他（ ）
- 8 無職

問10-2 あなたが仕事をする上での不満や悩みは何ですか。該当する番号に2つ以内で○をつけてください。

- 1 残業ができない
- 2 子どものことで休むこと
- 3 出張ができない
- 4 子どもの育児・養育のため条件のいい仕事ができない
- 5 家事や育児疲れて仕事に身が入らない
- 6 身分が不安定
- 7 給料が安い
- 8 その他（ ）
- 9 特に困っていることはない

問11 問10で「7」とお答えの方にうかがいます。あなたが働いておられない主な理由は何ですか。該当する番号1つに○をつけてください。

- 1 適当な職がない
- 2 自分が病弱
- 3 子どもの育児
- 4 他の家族の世話や介護
- 5 現在、職業訓練を受けたり、技術を取得中である
- 6 働く必要がない
- 7 その他（ ）

問12 あなたが現在取得している資格・技術、その中で実際に仕事に役立ったもの、今後取得したいと考えているものに○をつけてください。

	取得している	役立った	取得したい
	※いくつでも○をつけてください		※○3つまで
1 介護福祉士・ホームヘルパー	()	()	()
2 栄養士・調理師	()	()	()
3 教員・保育士など	()	()	()
4 看護師・保健師など	()	()	()
5 理容師・美容師	()	()	()
6 医療事務	()	()	()
7 医師・薬剤師	()	()	()
8 土木・建築・電気・水道等技師	()	()	()
9 大工・左官など	()	()	()
10 簿記・珠算など	()	()	()
11 IT(情報技術)の利活用に関する資格	()	()	()
※ Word、Excel等に関する資格やITパスポート、日商PC検定など			
12 システム開発等に関する資格	()	()	()
※ プログラマやシステムエンジニア等に関する資格等(基本情報技術者、シスコシステムズ認定資格等)			
13 外国語検定、会話など	()	()	()
14 和裁・洋裁・編み物・着付けなど	()	()	()
15 茶道・華道・書道・舞踊教室など	()	()	()
16 普通自動車運転免許	()	()	()
17 タクシー乗務員	()	()	()
18 大型自動車運転免許	()	()	()
19 その他()			

問13 仕事に対して、特にどのような支援があればよいと思いますか。該当する番号に2つ以内で○をつけてください。

- 1 仕事の紹介
- 2 技術・資格取得の支援
- 3 職業訓練の機会の充実
- 4 訓練受講時の経済的援助
- 5 仕事に関する相談窓口の充実
- 6 ホームヘルパー等の派遣
- 7 保育所や学童保育の整備
- 8 延長・夜間・休日保育の充実
- 9 病児保育の充実
- 10 その他()

問14 あなたの世帯の主な収入源は何ですか。該当する番号1つに○をつけてください。

- 1 あなた自身の就労収入
- 2 家族の就労収入
- 3 財産収入(家賃・地代等)
- 4 各種年金・手当
- 5 生活保護費
- 6 養育費・感謝料
- 7 その他()

問15 あなたの世帯全体（あなた自身を含む）の平均月収はどれくらいですか。該当する番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|-------------|-------------|-------------|
| 1 5万円未満 | 2 5～10万円未満 | 3 10～15万円未満 |
| 4 15～20万円未満 | 5 20～25万円未満 | 6 25～30万円未満 |
| 7 30～35万円未満 | 8 35万円以上 | |

また、令和3年のあなたの世帯の年間総収入並びにあなたご自身の年間総収入及び年間就労収入について、記入してください。（※年間総収入には、全ての収入（生活保護法に基づく給付、児童扶養手当等の社会保障給付金、就労収入（税金や社会保険料を含みます。）、別れた配偶者からの養育費、親からの仕送り、家賃・地代の収入等）を含めてください。また、詳細な金額が分からない場合は、概ねの金額で記してください。）

	金 額	
同居親族を含むあなたの世帯の年間総収入	約	□□□□万円
あなたご自身の年間総収入	約	□□□□万円
あなたご自身の年間就労収入	約	□□□□万円

問16 あなたが病気にかかったときの介護は、主にどなたがしますか。該当する番号1つに○をつけてください。

- | | | | |
|------------------------|-----------------|---------|---------|
| 1 子ども | 2 同居の親族 | 3 別居の親族 | 4 友人・知人 |
| 5 ひとり親家庭等日常生活支援事業を利用する | 6 世話をしてくれる人がいない | | |
| 7 その他（ | | | ） |

問17 お子さんが病気やけがをしたときの介護は、主にどなたがしますか。該当する番号1つに○をつけてください。

- | | | | |
|-----------------|------------------------|---------|---------|
| 1 あなた自身 | 2 他の子ども | 3 同居の親族 | 4 別居の親族 |
| 5 友人・知人 | 6 ひとり親家庭等日常生活支援事業を利用する | | |
| 7 世話をしてくれる人がいない | 8 その他（ | | ） |

※ひとり親家庭等日常生活支援事業…母子家庭の母や父子家庭の父等が、仕事の都合や疾病等により一時的に介護、保育等のサービスが必要な場合に家庭生活支援員を派遣する事業。

問18 新型コロナウイルス感染症による仕事への影響はありましたか。該当する番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|----------------|------------|------------|
| 1 失業・休業した | 2 仕事の量が減った | 3 仕事の量が増えた |
| 4 掛け持ちの仕事を増やした | 5 影響はなかった | 6 その他（ |

問19 新型コロナウイルス感染症による世帯収入への影響はありましたか。該当する番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 収入が1割～2割程度減った | 2 収入が3割～4割程度減った |
| 3 収入が5割以上減った | 4 収入が増えた |
| 5 影響はなかった | |

問20 新型コロナウイルス感染症による生活面などへの影響はありましたか。該当する番号に3つ以内で○をつけてください。

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1 食事の回数・量が減った | 2 出費が増えた（特に増えた出費：（ ） |
| 3 安価な住居に転居した | 4 借金をした・借金が増えた |
| 5 精神的に不安になることが増えた | |
| 6 子どもを保育園等に預けられなくなった | 7 その他（（ ） |

問21 新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、特に困っていることや不安なことはありますか。該当する番号3つ以内で○をつけてください。

- | | |
|---------------------|------------------|
| 1 仕事に関すること（具体的に：（ ） | 2 収入に関すること |
| 3 住居に関すること | 4 自身や家族の健康に関すること |
| 5 子どもの預かり先に関すること | 6 子どもの進学に関すること |
| 7 その他（（ ） | 8 特になし |

◎就学前のお子さんがある方におうかがいします。

問22 昼間、お子さんの保育は主にどなたがしますか。該当する番号1つに○をつけてください。

- | | | | |
|------------------------|-----------------------|---------|---------|
| 1 あなた自身 | 2 同居の家族 | 3 実家、親戚 | 4 友人、知人 |
| 5 近所の人 | 6 保育所（無認可、事業所内保育所を含む） | 7 幼稚園 | |
| 8 世話をする人がいない（子どもだけ）でいる | 9 特に決まっていない | | |
| 10 その他（（ ） | | | |

問23 問22で「6」または「7」とお答えの方におうかがいします。保育所や幼稚園には何時までお子さんを預かってもらいたいと思いますか。該当する番号1つに○をつけてください。

- | | | | |
|-----------------------|-----------|-----------|-----------|
| 1 午後5時まで | 2 午後6時まで | 3 午後7時まで | 4 午後8時まで |
| 5 午後9時まで | 6 午後10時まで | 7 午後11時まで | 8 午後12時まで |
| 9 午後12時以降、自分の希望する時間まで | | | |
| 10 その他（（ ） | | | |

◎保育園児、幼稚園生、または小学校1～3年生までのお子さんがある方におうかがいします。

問24 お子さんは、保育所（幼稚園）、小学校から帰った後、どのように過ごしていますか。該当する番号に3つ以内で○をつけてください。

- | | | |
|----------------------|------------------------|--------------|
| 1 親と一緒に家にいる | 2 同居の親族と一緒に家にいる | 3 子どもだけで家にいる |
| 4 友達の家に行っている | 5 あなたの友人・知人の家にいる | 6 塾に行っている |
| 7 児童館・放課後児童クラブに行っている | 8 ファミリーサポートセンターを利用している | |
| 9 NPO等の民間の支援団体に行っている | 10 その他（（ ） | |
| 11 分からない | | |

◎ここからは、すべての方におうかがいします。

問25 お子さんのことで悩んでいること、困っていることは何ですか。該当する番号に3つ以内で○をつけてください。

- | | | | |
|------------|-------------|------------|------|
| 1 しつけ | 2 子どもとのふれあい | 3 進学・教育 | 4 学費 |
| 5 友人関係 | 6 非行化 | 7 いじめ | 8 就職 |
| 9 結婚・異性関係 | 10 病気 | 11 身の回りの世話 | |
| 12 その他（（ ） | | 13 特になし | |

問26 下記の各種制度や施設のうち、ご存じのものすべてに○をつけてください。また、実際に利用したことがあるもの、今後利用したいと考えているものすべてに○をつけてください。

	知っている	利用したい	今後利用したい
1 ひとり親家庭等日常生活支援事業	()	()	()
2 ひとり親家庭医療費助成事業	()	()	()
3 児童扶養手当	()	()	()
4 福祉事務所	()	()	()
5 児童相談所	()	()	()
6 母子・父子自立支援員	()	()	()
7 民生委員・児童委員	()	()	()
8 児童養護施設・乳児院	()	()	()
9 ハローワーク	()	()	()
10 自立支援教育訓練給付金事業	()	()	()
11 公営団地優先入居制度	()	()	()
12 養育費講座	()	()	()
13 就業支援講習会			
ア 介護職員初任者	()	()	()
イ パソコン	()	()	()
ウ 医療事務	()	()	()
エ 調理師試験準備	()	()	()
14 市町村母子会	()	()	()
15 県母子寡婦福祉連合会	()	()	()
16 NPO等の民間の支援団体			
ア 食糧支援(子ども宅食・食堂など)	()	()	()
イ 学習支援	()	()	()
ウ 放課後のあずかり	()	()	()
エ 各種相談	()	()	()
オ その他	()	()	()
17 母子生活支援施設(母子寮)	()	()	()
18 高等職業訓練促進給付金等事業	()	()	()
19 ひとり親家庭高等職業訓練 促進資金貸付事業	()	()	()
20 母子父子寡婦福祉資金貸付金	()	()	()
21 無料職業紹介所	()	()	()

問27 今後行政の施策として、特に希望することは何ですか。該当する番号に3つ以内で○をつけてください。

- 1 家事を援助してくれる人の派遣制度
- 2 自分の病気や出張などの際、食事を宅配してくれる制度
- 3 自分の出張などの際、子どもを一時的に預かってくれる制度
- 4 自分や子どもが病気の際に援助してくれる人の派遣制度
- 5 子どもの養育、進学、就職等の相談制度
- 6 子どもの学習支援(ボランティアによる家庭教師・学習教室)
- 7 医療費助成制度の充実
- 8 公的年金や手当等の充実
- 9 子どもの進学の際の支度一時金制度など教育費の助成
- 10 公的貸付金の増額・拡充
- 11 保育サービス(延長保育、休日保育、一時・特定保育など)や放課後児童クラブ等の充実
- 12 公営(県営・市町村営)住宅の優先入居の拡充
- 13 就業相談や技能・資格・免許を取得するための就業支援講習会等就業支援の充実
- 14 生活保護制度の充実
- 15 子ども宅食・子ども食堂などの食糧支援
- 16 その他 ()

問28 今までお答えいただいたことも含め、生活上での悩みや問題点、また、国や県、市町村に対するご意見・ご要望などがございましたらお書きください。

1 生活上での悩みや問題点

2 国や県、市町村に対する意見・要望

以上で質問を終わります。お忙しいところご協力をいただきありがとうございました。